

別記様式第7号

公益信託ぎふNPOはつらつファンド
実績報告書(事業助成用)

平成18年9月17日

公益信託ぎふNPOはつらつファンド受託者
三菱UFJ信託銀行株式会社 へて

住 所:〒 509-5132
岐阜県土岐市泉町大富1645番地の9
法人(団体)名:
特定非営利活動法人グッドサポート福祉
代表者名: 理事長 佐々木武彦

会

公益信託ぎふNPOはつらつファンドから平成17年度(後期)の事業助成を受けた事業が完了しましたので、下記のとおり関係書類を添えて報告します。

記

1. 事業名

小春日和 しぶ柿サロン

2. 助成の種類 該当するものに を付けてください。

法人設立準備助成	立ち上げ時事業助成	展開期事業助成	人材育成事業助成
----------	-----------	---------	----------

3. 助成金額

既交付金額	144千円
実績額	144千円
差し引き額	0千円

4. 事業実施期間

平成 17年 10 月 1 日 ~ 平成 18 年 9 月 17 日(1 年間)

5 . 実施した事業の実績・成果

(1) 具体的な活動状況(実施日時、場所(住所)、対象者、参加者等)			
実施場所：グループホーム小春日和 岐阜県土岐市泉町河合217番地			
月日	行事	内容	参加者
平成17年 12月5日 10時	パンづくり講習会 (開設準備会)	パンづくり等の講習会と今後の 打ち合わせ会	ボランティア 2名と職員2 名
12月11日 13時	童謡、唱歌とハー モニカの会	民謡の音和会の方とともに、プ リントを見ながら歌う。	ボランティア 9名と入居 者8名
12月13日	チラシ配布	しぶ柿サロンの案内・挨拶を地 域に配布(手配り、会合での配 布依頼など)	
平成18年 2月3日 10時	恵方まき寿司とコ コア豆乳づくり	節分と健康づくりの交流。	ボランティア 3名と入居 者7名
2月19日 13時	えとのイヌづくり	タオルを使い、18年の干支の イヌを作成。	ボランティア 4名と入居者 8名
2月20日 13時	タオルのてふきド ール作り	タオルを使い、おてふき兼用の 人形づくり	ボランティア 2名と入居者 8名
2月28日 10時	絵手紙づくり	筆使いの基本の練習と作品づ くり(テーマ:にんじん、さつまい も)	ボランティア 3名と入居者 6名
3月3日 13時	紙細工のひな人 形づくり	色紙、ボール紙などを使い、そ れぞれ内裏びなを作る。	ボランティア 1名と入居者 7名
4月8日 13時	絵手紙づくり	テーマ:おだんご	ボランティア 3名と入居者

			6名
4月10日	手紙郵送	地域の方へ、案内状。	
4月28日 13時	紙の鯉のぼりづくり	B紙、画用紙などを使い、大型 小型の鯉のぼりを作る。	ボランティア 1名と入居者 8名
5月14日 13時	童謡、唱歌とハー モニカの会	民謡の音和会とともに、季節 の歌を歌う。	ボランティア 7名と入居者 9名
6月8日 10時	絵手紙づくり	テーマ:花(どくだみ)	ボランティア 3名と入居者 6名
6月24日 13時	踊りの会	千曲翠匠会の方の踊りを観賞、 ともに踊りに挑戦。	ボランティア 5名と入居者 9名
7月6日 10時	七夕づくり	笹飾りなどに使うかざり作り。	ボランティア 2名と入居者 7名
7月11日 10時	クラフトひもの 小物づくり	クラフトひもを活用し、金魚など のかざりものを作る。	入居者8名
7月16日 13時	手鏡 アートグラ ス 工作	専用の手芸材料を使い、手鏡を スタンドグラス風に飾る。	入居者7名
7月18日 10時	絵手紙づくり	テーマ:きゅうり	ボランティア 3名と入居者 9名
8月3日 19時	花火の会	各入居者それぞれに、花火を 体験していただく。	ボランティア 1名と入居者 9名
8月5日	バーベキュー会	夕方、庭でのバーベキュー	ボランティア2 名と入居者 10

18時			名
8月7日 13時	ビーズの小物づくり	ビーズでの指輪づくり 1	入居者4名
8月8日 13時	ビーズの小物づくり	ビーズでの指輪づくり 2	入居者4名
9月16日 9時 17日 9時	クラフトひもとタオルでの小物づくり	クラフトひもで、カゴを作り、その中に、タオルで作った小鳥を入れる。	ボランティア1名と 入居者9名

(2) 活動の成果（開催行事等の参加規模、目的の達成度、効果等）

参加規模については、ボランティア10数名の入れ替わりが主体で、その方たちと、グループホーム入居者との、交流が中心となった。

目的の達成度については、おおむね順調に推移し、目的を達成できた。

効果等については、グループホーム入居者と外部のボランティアとの、親密な交流、人間関係が生まれた。

普通の暮らしの中の近所づきあいのような、自然な、落ち着いた雰囲気、会が持てた。

グループホーム入居者にとっては、長い間忘れていた、手芸や、料理への参加。絵手紙や、作品など初めての体験があり、楽しみが増えた。

(3) 今後の課題

地域のおとしよりや、子供などが、普段、気楽に立ち寄れるサロンづくりを目指しています。

そのために、サロンに健康器具、軽運動具、血圧計、カラオケ、マッサージ器等を置き、自由に入出入りして、利用してもらえるような場所づくりがメインであったが、物品は汎用性があるということで、今回の助成金対象からはずれたため、行事部分のみの取り組みとなった。

今後は、日常的な地域交流という、当初の企画の実現をめざして、物品購入の予算確保ができる方法を考えたい。